

授業科目(ナンバリング)	日本語 A (AC105)			担当教員	※下田 耕一		
展開方法	演習(遠隔)	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
日本語の基礎を社会生活に即した教材を通して学ぶことによって基本的な知識の習得を目指す。新聞等の記事をもとに作られたテキストを精読し、日本の社会の現在の状況を学び、文型や文章のスタイルを習得する。							②③⑧ ⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	学習者の母国の状況と関連させ学習者自身の感想・意見を述べることによって、日本語に関心を持つことができる。				発表 授業態度・参加度	15%	
情報収集、分析力	テーマに沿った関連する語・語句を用いて、自分の考えを述べることによって日本語を理解することができる。				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	単元で学んだ文型を用いて意思疎通を図り、日本語能力を高めるとともに情報発信力を身に付けることができる。				課題プリント 随時試験	35%	
協働・課題解決力	言葉のきまり(文法)を理解して、日本語の理解に努めるとともに相互の考えを発表することができる。				発表 授業の参加度	15%	
多様性理解力	文化の違い、多様な考えがあることを理解することができる。				課題レポート	25%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の理解の定着を診断するために、遠隔授業のため随時試験として、復習小テストを数回行い、結果は素点と評価(A～D)を学生にフィードバックして周知した。 ・課題レポートについては、授業の中で説明する。 							
授 業 の 概 要							
<p>単元の本文を精読する。①②③のステップによる学習活動を行う。</p> <p>① 本文中の新出単語、重要文型、言い回し等を確認する。 ② 文章を読み、大意をつかみ、内容理解を進めながら母国の状況に触れながら感想・意見を述べる。③ ②の活動を応用・発展させ考察する活動により多面的な理解とその拡充を図る。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：『留学生のための時代を読み解く上級日本語 第2版』(スリーエーネットワーク)</p> <p>参考書：適宜、紹介する。</p> <p>指定図書：教科書と同じ。(留学生には別途、授業中に指示する。)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
予復習の指示を徹底し、課題プリント、課題レポートを試みて提出する。コミュニケーション能力を身に付ける努力を惜しまずに積極的に取り組んでほしい。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	第 1 課	遠距離結婚と夫婦の形について考える。	シラバスを読む、短作文プリント
2			p. 15-Ⅱ-7
3	第 2 課	働く女性と「女性活躍」の現状について考える。	短作文プリント
4			p. 21-Ⅱ-7
5	第 3 課	「父親の育児参加」について考える。	短作文プリント
6			p. 30-Ⅱ-8
7	第 4 課	社内結婚と、それを後押しする企業について考える。	短作文プリント
8			p. 38 -Ⅱ-7
9	第 5 課	「働き方一変わる・変える」について考える。	短作文プリント
10			p. 47 -Ⅱ-7
11	まとめ	第 1 課～第 5 課の中から一つ選んで班別に討論し、プレゼンをする。	レポート (800 字) の準備、作成
12	第 6 課	「なぜ少子化が社会問題なのか」について考える。	短作文プリント
13			p. 57 -Ⅱ-7
14	第 7 課	高齢社会と「買い物弱者」について考える。	短作文プリント
15			p. 68-Ⅱ-6
16	第 8 課	「離れて暮らす親の見守り」について考える。	短作文プリント
17			p. 76 -Ⅱ-7
18	第 9 課	「ノーマライゼーションの地域を作る」について考える。	短作文プリント
19			p. 86 -Ⅱ-6
20	第 10 課	高齢社会の利点について考える。	短作文プリント
21			p. 94-Ⅱ-7
22	まとめ	第 6 課～第 10 課の中から一つ選んで班別に討論し、プレゼンをする。	レポート (800 字) の準備、作成
23	第 11 課	日本と母国の大学入試について考える。	短作文プリント
24			p. 106 -Ⅱ-7
25	第 12 課	I T機器の子どもたちへの影響について考える。	短作文プリント
26			p. 114 -Ⅱ-6
27	第 13 課	「主権者教育」の在り方について考える。	短作文プリント
28			p. 122 -Ⅱ-7
29	第 14 課	ロボットの活用、A I と人間の仕事について考える	短作文プリント
30			p. 133 -Ⅱ-5
31	定期試験	筆記試験	試験の準備学修